

STELLA McCARTNEY のブースデザイン

～ エシカルファッションの認知拡大～

○エシカルファッションとは

直訳すると、「サステナブル」は「持続可能な」、「エシカル」は「倫理上、道徳的な」。
エシカルファッションをわかりやすく訳すと、「生産に関わるすべての人と地球環境に配慮したファッション」という意味。

近年ファッション業界で注目されている言葉であり、最近は大衆向けの広告でも目にする機会が増えた。
しかし、一般的にはまだ浸透し切っておらず、ファッションワールド東京 2020 に訪れた際に行ったインタビューでは、業界内でも男性は認識が甘い人が多いという意見があった。

具体的な内容については、日本発信のエシカルファッション推進団体 Ethical Fashion Japan により7つの「やり方」が提案されている。しかし、定義は明確にされておらず、作り手や受け手がエシカルファッションと考えれば、エシカルファッションとすることができる現状が課題とされている。



○ステラマッカートニーとは

2001年に創立されたイギリスのファッションブランド。
環境への配慮をこだわり抜いたブランドであり、ファッション業界において「サステイナブル」「エシカル」というキーワードが叫ばれる中、先陣を切って、リサイクル素材や、「ノーレザー、ノーファー、ノーフェザー」の姿勢を貫いてきた。

創立当時、ファーやレザーを使用しないラグジュアリーブランドの構築は不可能だと考えられていたが、ステラはそれらをブランドの選択肢から外すのではなく、代替品を用いた商品を売り出すことでエシカルブランドとしての成功を収めた。

ステラマッカートニーは不要な害を惑星に与えることなく高級品を作ることが可能だと証明することを目標としており、サステイナビリティに対するコミットメントは、すべてのコレクションおよびブランドの信念「責任を持ち、誠実で、現代的な会社であること」を通して貫かれている。

ステラマッカートニーの2020年スプリングサマーコレクション、
オータムウィンターコレクションを用いて、エシカルファッションの認知拡大をテーマに
それぞれのブースデザイン及びカタログ制作を行う。

○目的

エシカルファッションを広めることで未来の地球環境を守る

環境問題は年々深刻さを増している。リサイクルや節電といった対策は暮らしに浸透しているが、ファッションについてはつい最近まで野放しにされてきた。しかし、実はファッション業界は、地球環境汚染に対して石油産業に次いで影響度が高い業種だという説がある。

衣服を作る過程で生じる汚染水や温室効果ガス、衣服に毛や皮を使うための動物の大量処分、さらに、ファストファッションの流行による廃棄量増加など、様々な場面で環境に悪影響を与えているのである。

しかしながら、私たち一般人のほとんどはその背景を知らずに服やバッグを買っている。今回はそういったファッションが及ぼす環境や人体への影響、また、その影響を防ぐためにこういったファッションがあるということをブースデザインを通して世間に広め、未来の地球環境を守る。

問題意識を深める

業界人の中にすら、デザイン第1、サステイナブル、エシカルはおまけと思っている人がまだ多くいる。
写真や文字で現状を知ってもらおうと共に、ステラマッカートニーの商品がサステイナブルであり、かつデザイン性に優れることを知ってもらおう。

固定概念をなくす

本物は偽物よりもいい。当たり前に見えるこの考えが変わらない限り、ファッションのための動物殺生はなくなる。ステラマッカートニーの偽素材でできた高級品を見て触れて、偽素材でも本物に劣らないものを作ることができると証明する。

○展示会で使用するマネキンについて

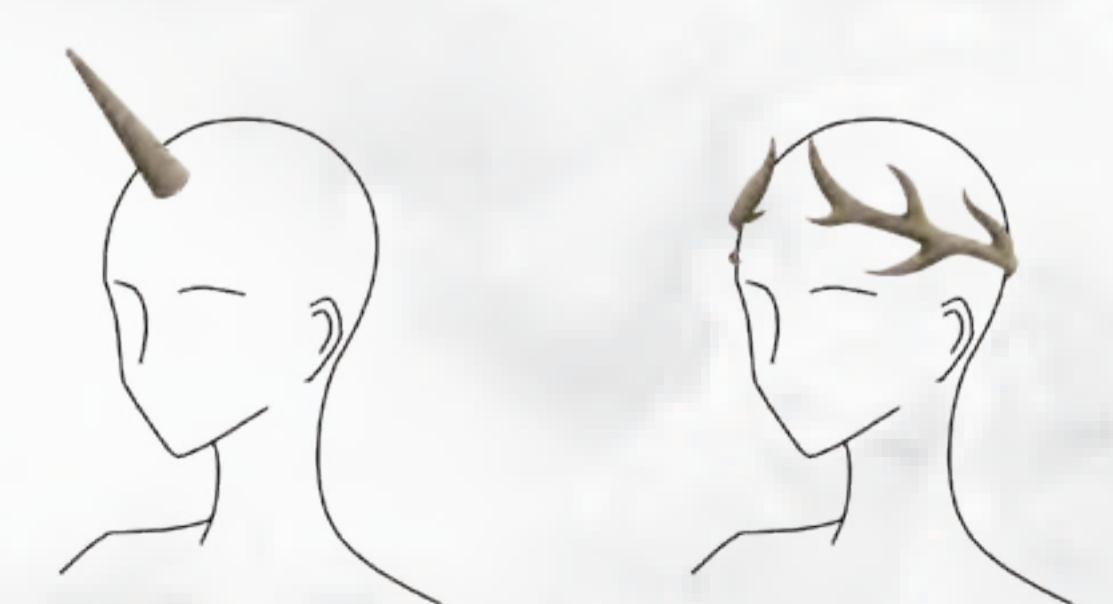
ステラマッカートニーでは商品だけでなく店舗で使用するものの素材にも拘っており、マネキンはBPlast®という素材を使用した生分解性のあるBNATURALを業界で初めて採用した。そこにさらに、石油派生物を全く含まない再生可能な有機物質のみで作られたBPaint®でコーティングしている。今回の展示会ではこのマネキンをアレンジして使用する。

スプリングサマー



種と草冠をモチーフにデザイン。
ゴールドを使用することで高級感を演出。

オータムウィンター



ユニコーンと鹿の角をモチーフにデザイン。
ユニコーンの角には毒を無毒化する効果があるとされる。